



東北大学

平成21年 9月 4日

県政記者会報道機関各社 御中

東 北 大 学

東北大学金属材料研究所長候補者の選出について

このたび、本学金属材料研究所長 中嶋 一雄 教授（63歳）の任期満了（3年、平成21年11月5日まで）に伴い、平成21年9月4日（金）に選挙が行われた結果、新家 光雄 教授が選出され、同日開催の教授会において、同教授が次期金属材料研究所長候補者となることが了承されましたので、お知らせします。

記

候補者名： 新家 光雄（新任）

任 期： 平成21年11月6日～平成24年3月31日（2年5ヶ月）

\*この件に関する問い合わせ先

金属材料研究所 総務課人事係

電話 022-215-2185

FAX 022-215-2184

## 東北大学金属材料研究所長候補者の略歴等

(ふりがな) (にいのみ みつお)

候補者名： 新 家 光 雄

任 期： 平成21年11月6日～平成24年3月31日（2年5ヶ月）（新任）

生年月日： 昭和26年3月7日（58歳）

出身地： 愛知県西尾市

部 局 名： 金属材料研究所

講座（部門）名： 生体材料学研究部門

専門分野（専攻）名：生体材料学

### 略 歴：

昭和48年 3月 名古屋大学工学部金属学科及び鉄鋼工学科卒業  
昭和50年 3月 名古屋大学大学院工学研究科修士課程金属工学及び鉄鋼工学専攻修了  
昭和54年 7月 名古屋大学大学院工学研究科博士課程金属工学及び鉄鋼工学専攻修了  
昭和54年 5月 豊橋技術科学大学工学部文部技官  
昭和55年 4月 豊橋技術科学大学工学部助手  
平成 元年 4月 豊橋技術科学大学工学部助教授  
平成 7年 4月 豊橋技術科学大学工学部教授  
平成17年10月 東北大学金属材料研究所教授  
平成20年 4月 東北大学総長特任補佐（平成22年3月まで）

### 主 な

研究業績： 生体用および航空機用チタン合金の研究・開発  
生体用金属系材料の生体親和性に関する研究  
歯科用低貴金属合金の力学機能とマイクロ構造に関する研究  
チタン合金の歯科精密鑄造技術の研究・開発  
高力アルミニウム合金の強靱化に関する研究  
軽金属材料の加工熱処理によるマイクロ組織制御と強靱化に関する研究

など

### 受 賞 歴：

昭和60年 3月：永井財団学術賞  
昭和61年11月：軽金属学会論文賞（その後1回受賞）  
平成 6年 4月：日本鉄鋼協会青山記念賞  
平成12年12月：日本チタン協会技術賞  
平成14年11月：日本金属学会技術開発賞（その後1回受賞）  
平成15年10月：日本金属学会論文賞（その後1回受賞）  
平成15年11月：西尾市ふるさと西尾市民顕彰(西尾市)  
平成17年 5月：軽金属学会功績賞  
平成18年 5月：日本鑄造工学会小林賞  
平成19年12月：Lee Hsun Lecture Award  
平成21年 3月：日本金属学会学術功労賞  
平成21年 3月：大阪大学GCOEプログラム

「構造・機能先進材料デザイン教育研究拠点」論文賞

など

- 著 書： (1) 材料システム学, 共立出版(株), 1997, (共著)
- (2) 金属便覧改訂 6 版, 丸善(株), 2000, (共著)
- (3) チタンおよびジルコニウムとそれらの合金(医療用材料担当), 金属データブック第 4 版, 丸善(株), 2003, (共著)
- (4) Material Characteristics and Biocompatibility of Low Rigidity Titanium Alloys for Biomedical Applications in the book on “Biomaterials in Orthopedics”, Marcel Dekker, INC, 2004, (共著)
- (5) 「人体にやさしいチタン人工骨」執筆担当, 「続もの作り百科」, コロナ社, 2005, (共著)
- (6) 第 2 章 応用編 「生物学的および力学的生体適合性金属系材料」執筆担当, 「ナノマテリアル工学体系 第 2 巻 ナノ金属」, (株)フジ・テクノシステム, 2006, (共著)
- (7) Titanium and Its Alloys in the book on “Encyclopedia of Biomaterials and Biomedical Engineering”, Marcel Dekker, INC, 2006, (共著)
- (8) 「低コスト高強度チタン合金と有毒元素を含まない生体用チタン合金」執筆担当, エコマテリアルハンドブック, 丸善(株), 2006, (共著)
- (9) 第 1 章 イノベーションと資源リスク 4 医療技術とレアメタル –金属系バイオマテリアルとレアメタル–執筆担当, 地球環境シリーズ「レアメタルの代替材料とリサイクル」, シーエムシー出版, 2008, (共著)
- (10) Part II Materials for Ecological and Biological Systems, 14 Mechanically Multifunctional Properties and Microstructure of New Beta Type Titanium Alloy, Ti-29Nb-13Ta-4.6Zr, for Biomedical Applications in the book of “Advanced in Materials Research 10”, Frontiers in Materials Research, 2008, (共著)
- (11) Titanium Alloys with High Biological and Mechanical Biocompatibility in the book on “Biomaterials in Asia”, World Scientific Publishing, Singapore, 2008, (共著)